



# ドクター板東の メディカルリサーチ

～目指そうぜ 今後スポーツ 立国を～

Vol. 76

<http://hb8.seikyou.ne.jp/home/pianomed/>

スポーツとは多面的な存在だ。運動や趣味、楽しみという側面もあれば、文化や政治、経済など歴史を大きく変革するパワーも内に秘めている。

筆者は日本体育協会のスポーツドクターとして、全国会議に出席する機会があった。専門家から素晴らしいレクチャーで学ぶことができ、その中から有用と思われる情報について、少し紹介させていただきたいと思う。

## スポーツの価値

日本体育協会は、長年にわたり、世界のオリンピックや世界最大規模の国体、多くのスポーツの裾野を広げる活動など、スポーツの普及や選手の育成の根本を支えてきた。

このたび会議が開催されたのは「味の素ナショナルトレーニングセンター」である（図1）。トップアスリートが集い、科学的なトレーニングセンターである（図1）。トップアスリートが集い、科学的なトレーニングも可能なスポーツだ。玄関には、日本オリンピック委員会と表示され

## 医学面のニュース

まずは、トピックスを紹介したい。中国で国際大会があつたときのこと、ドーピングで数十人の選手が一斉に引っかかってしまった。

異例の事態に急遽調査すると、原因は会場で出された料理のブタ肉と判明。ブタを飼育するとき、「瘦肉精（塩酸クレンブテロール）」という成分を混ぜると肉の赤身が増す。禁止されていても、中国では違法に使用する悪徳業者が絶



図1

表1 ドーピングの経緯

1970 低分子化合物
1980 内因性ステロイド
1990 蛋白同化男性化ステロイド 成長ホルモン、 エリスロポエチン（造血作用）
2000 血液ドーピング（自分の血液） インスリン、成長因子
2010 ペプチドホルモン、新しい物質 遺伝子ドーピングのレベル

表1

本経験からその後、選手たちに通達が。数人のグループだけで外出して食事するの厳禁。常に会場で他の選手たちと同じものを摂取することになった。

は、ドーピングが大きな問題であり、長年の概略を表1に示す。

このように、国際舞台での選手たちと同じものを摂取することになった。

ほかに、ホルモンや薬を使わず、持久力を高める方法がある。自分の血液を前もつて保存しておき、試合直前に再び体内に戻す。赤

血球が多く酸素を多く運ぶため、成績が上がるのだ。従来はチエックできなかつたが、近年、コンピュータを駆使して明らかにできるようになつた（図3）。

その根拠は統計学である。人間の検査データには



